

創立記念祭挨拶

本日、第五十三回創立記念祭に、衆議院議員の葉梨康弘様、龍ヶ崎市長の中山一生様、県会議員の萩原勇様、をはじめ多数のご来賓方々、並びに愛国学園理事長の三浦亮一様をはじめ、学園本部から多くの先生方のご臨席を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

また、保護者の皆様にも多数ご来場いただき深く感謝します。

天候不順と大型台風の影響で、練習計画の大幅な変更を余儀なくされたり、本日開催ができるかどうかも心配されましたが、自然とうまくつきあつていくしかありません。予定したプログラムが一つでも多く進められることを願っています。

ところで、創立記念祭は本校の創立を記念する日です。つまり、本校の誕生日に当たります。誕生日というのは、本人にとつては一年の中で最も大切な一日であり、その人の誕生を祝うものだと思いますが、私はむしろ、命を与えてくれた両親に感謝する日だと思ふようになりました。

ですから、今日は、本校にとつて創立者の織田小三郎先生と淑子先生のお二人に感謝する日なのです。昭和40年、1965年にかつての駒柴中学校の跡地に龍ヶ崎高校は創設されました。その年はちよつど日本で初めて、東京でオリンピックが開催された翌年に当たります。第1回と第2回の創立記念祭は小岩校において合同で行われたと聞いています。第3回目からこの場所で行われるようになりまし

た。

今年の水色のパンフレットには、最後のページに本校の沿革と写真を載せました。龍ヶ崎校の歴史と伝統について。パンフレットを見ながら皆さんには振り返ってもらいたいと思います。私も校長として、今日のこの日を本校の創立、誕生の原点に立ち返り、本校の未来をしっかりと見据えていく日したいと思います。

さて、学園の伝統行事である創立記念祭の主役は生徒の皆さんです。私が皆さんに四月から言い続けている「いつでも誰でも主人公」を見せる絶好の機会です。私たち教職員は常に脇役であり、同時に演出家でもあります。そしてテントの中で見守つてくださる来賓の方々や保護者の方々や中学生の皆さんはお客様であり、皆さんの応援団でもあります。つまり、主役の皆さんと脇役の先生方と応援団の観客の皆さんの三者によって成り立っているのがこの創立記念祭です。三者が一堂に集まり、時間と場所を共有して初めて成り立つ行事なのです。

生徒の皆さんには、2学期の目標として、3つのアルファベット「MY J」の話をしました。Mは「自ら動く」のM、Yは「やるべきことを知りやるべきことをやり切る」のY、そして、Jは「自分を生かす」のJでした。今日は皆さん一人一人がそのMYJを見せる日です。これから行われるプログラムを通して皆さんの気持ちが一つになり、皆さんの心の中にそれぞれの達成感が持てるように頑張ってください。そうなることを願つて私は観客の皆さんと応援し続けます。

う。
それでは愛龍生の皆さん、MYJで創立記念祭を成功させましょ